

令和6年2月12日 東海ブロック研修会 IN 三重に参加して

愛知県介護支援専門員協会研修委員会報告

令和6年2月12日（祝）アスト津（アストホール）にて「令和5年度日本介護支援専門員協会 東海ブロック研修会 in 三重」が開催されました。約230名が参加者され（オンライン参加を含む）愛知県からも11名が参加をいたしました。東海ブロックとしては、ひさしぶりの参集開催となりました。新たな地域社会の創造～これから求められる介護支援専門員の役割等について～をテーマに午前の部では、厚生労働省老健局、諏訪林智氏より「令和6年度介護報酬改定から見る介護支援専門員のあり方、役割について」三重大学、飯田昌美氏より「大規模自然災害！あなたは何をしますか？何を備えますか？」とそれぞれ講演をいただき、今後の介護支援専門員の役割や災害時への備えや対応等、多くを学ぶことができました。

午後の部では各県より発表があり、愛知県からは磯村直美副会長が「ICT活用によるケアマネジメント業務の効率化について」発表され、ICT活用によりサービス担当者会議時の照会文の作成、会議調整時間等で業務の効率化が図れ、チームアプローチの推進にもつながると貴重な研究報告をいただきました。

活動報告として日本介護支援専門員協会 常任理事 山田剛氏より職能団体としての存在について制度設計や報酬改定に自分の声を反映させる。介護支援専門員の地位を向上させる。資質の向上の為にも是非会員として共に活動しようのご意見をいただき、会員としての役割、重要性を再認識することができました。

